



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

住民主体の地域づくり 支援事業を問う

新たな「町内会びじょん」作成を実施



花いっぱい運動実践（福寿野地区）

質問 「町内会びじょん」の最終年度になり、これまでの成果・課題と、今回の具体的な進め方を質問します。併せて「地区びじょん」に基づき地域運営組織の構築と運営について進めてきましたが、現状・課題等と今後の進め方についても質問します。

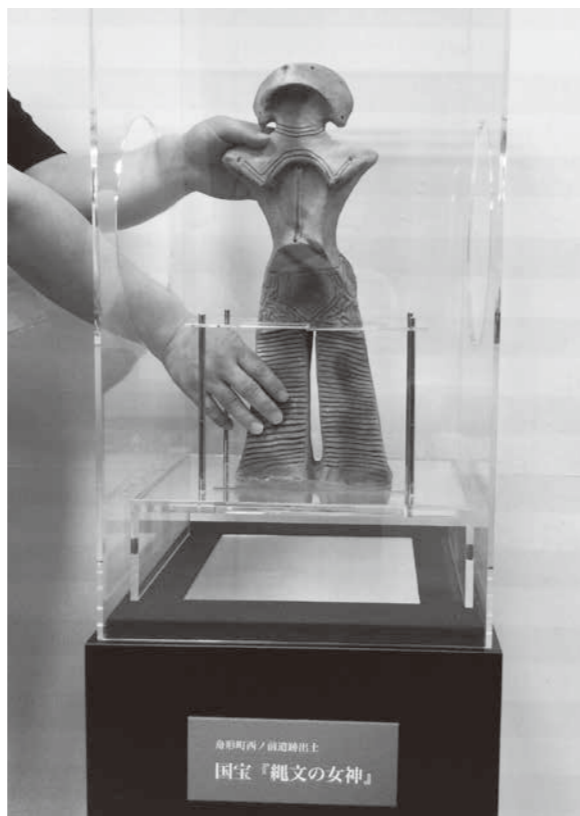
町長 これまでの成果としては、町民と町職員、学生などが年代や立場を越えてワークショップを行い、その結果、町内会活動の指針となる「町内会びじょん」が作成でき

たことです。今年度は全町内会を対象に町職員及び東北公益文科大学に協力を依頼し、これまでの「町内会びじょん」の課題を整理し、今後5年間の計画作りをサポートしていきます。地域運営組織の「地区びじょん」についても、来年度に計画期間の最終年度となるので、今年度と同様に検討を進めていきます。住民主体の地域づくり事業は、これからの地域づくり、担い手づくりに必要な事業であり、一歩ずつではありますが前に進んでき

質問 町では国宝「縄文の女神」の里帰り実現のため、プロジェクトチームを立ち上げ鋭意検討を進めています。現在の検討状況を質問します。また、里帰り実現のため

質問 町では国宝「縄文の女神」の里帰り実現のため、プロジェクトチームを立ち上げ鋭意検討を進めています。現在の検討状況を質問します。また、里帰り実現のため

とと考えております。地域づくりに終わりはありません。時代に即応した地域づくりを着実に進めて参ります。



見て触ってより身近に感じる

県と話をした経過はあったのかも聞きします。

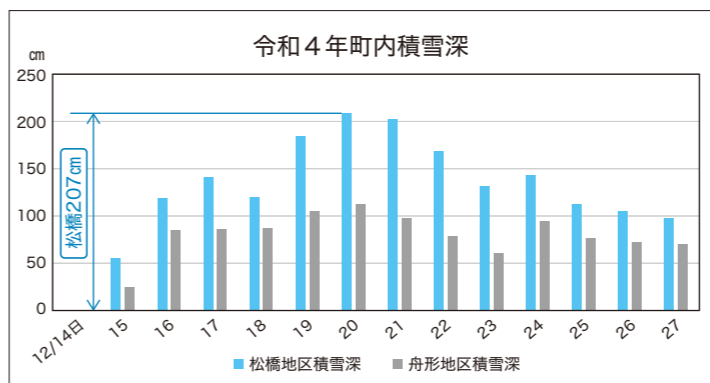
町長 里帰り実現のため、多角的な検討を図るため、令和3年度にプロジェクトチームを組織しました。令和4年度に「縄文の女神ミュージアム基本構想」をまとめました。今年度は基本構想をベースにした鳥瞰図等について検討していく予定です。町民の思いや町の考えを県に伝え、今年度中に要望活動を行いたいと考えています。



あらかわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

倒木によるリスク管理が急務では

停電時専用コンセント設置を検討する



初雪から6日間で
2メートルを超えた積雪（松橋地区）

質問 昨年末の大雪により倒木、県道の通行止め、停電が発生して生活に大きな影響を与えました。1、県道の長期間通行止めは、県と連携して改善策を協議する必要がありますか。

町長 昨年、12月15日から連日大雪警報が発表され、12月20日には松橋地区で207センチメートルの積雪を観測しました。

また、着雪による倒木を原因とした停電により、雪を原因としては初めての避難所開設や、備蓄品の反射式ストーブの貸し出しを行うなど、緊急な対応を行いました。1つ目については、県に対し、速やかな情報提供・情報共有を行っていただきます。今回は、電力線、NTT線への倒木だったため、道路管理者が自ら処理できず、時間がかかりました。2つ目については、電力会社では立木の予防伐採を行っていない状況で

対応を行いました。1つ目については、県に対し、速やかな情報提供・情報共有を行っていただきます。今回は、電力線、NTT線への倒木だったため、道路管理者が自ら処理できず、時間がかかりました。2つ目については、電力会社では立木の予防伐採を行っていない状況で

す。しかし、昨年の倒木による日本海側の大規模停電を受け、町としても関係機関に要望を行っていきます。3つ目については、全ての基地局に24時間程度の非常電源を備えていますが、今回は停電が35時間以上に及んだため障害が発生しました。ただし、避難所の場合は緊急性が高いため、早期に対応す

るとの回答を得ています。4つ目については、工事が必要となりますが、配電盤を通し通電させることは可能であるとのことでした。しかし配備してある発電機の容量では、連続使用時間は短くなるようです。5つ目については、具体的に設置する施設や部屋等について検討し実施してまいります。

発電機からの受電用コンセント(外壁)



停電時専用のコンセント(室内)

取付を検討する停電時専用コンセント